



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN

2007-2008年度RI会長
ウィルフリッド J. ウィルキンソン



2007-2008年度
第2590地区ガバナー 亀ヶ谷 邦博

会長	吉田 隆男	会長エレクト	犬飼 和春
副会長	河野 明光	副会長	岩澤 利雄(PP)
幹事	加藤 仁昭	副幹事	古川陽太郎
会計	舘野 典久	副会計	朝日 達夫
S A A	山田 正憲	副 S A A	布施 是清
クラブ会報	田口健太郎	副 S A A	永井 隆俊(PP)

2007-2008年度
第34号週報 No.1546

2008年(平成20年)3月21日 第1546回例会記録 3月28日発行

クラブテーマ 「自然体で、ためになる、魅力あるロータリー」



事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸1-11-3 TEL:045(314)3900 FAX:045(314)3555

例会日 毎週金曜日0:30~1:30 PM 例会場 ホテルキャメロットジャパン 創立記念日 昭和51年5月29日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/> E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

***** 清水 勇一 第21代会長御逝去 *****



かねてより病氣療養中の清水勇一第21代会長が3月21日警友病院にて心不全のため御逝去なさいました。享年80歳。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

お通夜は3月24日、告別式は25日、いずれも真言宗薬王寺で行われ、多数の会員が参列致しました。

— 弔辞 —

神奈川県東ロータリークラブを代表して故清水勇一会員の霊に謹んで一言お別れの言葉を申し上げます。

先にあなたが病床に伏されて以来、ご家族ご親族の皆様方の献身的なご看病の甲斐もなく、またひたすらにあなたのご快癒を祈っておりました私共会員の切なる願いもむなしく、あなたは遂に帰らぬ方となりました。

かえりみますと、神奈川県東ロータリークラブに入会して以来、数々の理事、役員を務め、平成8年~9年度会長という重責を見事に果たして来られたのであります。あなたがクラブに残された功績はまことに大きなものがございます。

あなたは私共会員にいつもニコニコと笑いながら元気な顔をみせておられました。もはやその顔に接することもできません。誠に痛恨の極みでございます。

あなたが例会日の金曜日の3時にお亡くなりになったことをうかがい、あなたのクラブに対する思い入れを感じ、会員一同あなたのことを忘れず、神奈川県東ロータリークラブを立派に発展させていく

ロータリー暦

- 1981年10月 入会
- 1986~87年 親睦活動委員長
- 1988~89年 SAA
- 1990~91年 国際奉仕委員長
- 1991~92年 副幹事
- 1992~93年 幹事
- 1995~96年 会長エレクト
- 1996~97年 会長
- 2002~03年 職業奉仕委員長

本日《3月28日》のプログラム

- ◆齊 唱 「手に手つないで」
- ◆献 立 鯛のヴァブール
- ◆卓 話 「急成長のインドに注目しよう」
アジア問題研究家 朝比奈 峰男 様

ことをお誓い申し上げます。

本日、告別の式に当り、心よりご冥福をお祈り致します。

長い間お世話になりまことにありがとうございました。

平成20年 3月25日

神奈川東ロータリークラブ
会長 吉田 隆男

司 会 山田 正憲 S A A

点 鐘 吉田 隆男 会長

齊 唱 それでこそロータリー

ゲスト紹介

斎藤 磐根 様 (ゲストスピーカー)

ビジター紹介

横浜西 R.C 浅見 秀一 君

横浜 R.C 岡山 健一 君

結婚記念日祝

渡邊 淳 会員 (3月25日)

芦沢 康大 会員 (3月25日)

入会記念祝

田中 栄 会員 (3月12日)

誕生日祝

田中龍太郎 会員 (3月18日)



幹事報告

第4グループ会長幹事会が3月28日(金)18時30分から鶴見「翠華楼」で開催されますので、吉田会長に出席していただきます。

なお、加藤幹事は新会員歓迎会の方に出席致します。

米山梅吉記念館から「館報11号」が送られて参りましたので、回覧致します。また、4月29日に開催されます梅吉記念館 春季例祭の出欠伺いもきております。同じくお廻ししますので希望者はお申し込み下さい。

回覧物 ・横浜都筑 R.C 会報 ・川崎中 R.C 会報
・川崎とどろき R.C 会報

例会変更のお知らせ

横浜鶴見北ロータリークラブ

平成20年 3月20日(木) 休会 (祝日)
4月10日(木) 創立35周年記念例会

点鐘 18:00

場所:アートグレイス ポートサイドヴィラ

5月1日(木) 休会 (定款第5条第1節)

横浜北ロータリークラブ

平成20年 4月1日(火) 夜間例会 点鐘 18:30

米山奨学生送別会

4月8日(火) 創立28周年記念夜間例会

点鐘 18:30

横浜南陵ロータリークラブ

平成20年 3月20日(木) 休会 (祝日)

3月27日(木) 29日に移動例会

「キャッツ」観劇

4月3日(木) 例会場臨時変更

会場 山下町

「ホテルコンチネンタル横浜」

委員会報告

国際奉仕委員会 委員長 山崎 善也

マレーシア・ルーヤン R.C 「インターアクト受入れ」に関するアンケートにご回答いただきましてありがとうございます。また、ホームステイ受入れ期間は5月27日から31日ですが、1泊もしくは2泊でも構いませんので受入れをお願い申し上げます。

親睦委員会 委員長 高田 修

「春の家族会」が5月18日にディズニー・シーで行われますのでご参加をお願い致します。また、4月28日に新会員歓迎会が行われますので合わせてご出席下さい。

出席報告

雨宮 和則 委員

会員総数	65名	(51+14)名
出席会員数	45名	(36+9)名
出席率	75%	
ゲスト	1名	ビジター 2名
前回補正後	88.14%	前々回補正後 93.22%

スマイルボックス

永井 隆俊 副SAA (PP)

岡山健一君 久しぶりにお伺いしました。よろしくお願ひ致します。

浅見秀一君 本日はよろしくお願ひします。

田中龍太郎君 誕生日祝いありがとうございます。56才になりました。年金を貰えるまであと何年か頑張りたいと思います。

芦沢康大君 結婚祝いありがとうございます。

渡邊 淳君 結婚祝い、ありがとうございます。脇田さんわざわざありがとうございました。岡山さんようこそいらっしゃいました。本日は加藤幹事の代理をつとめさせていただきます。

植田清司君 斎藤磐根様、本日はお忙しいところお出でいただきましてありがとうございます。卓話よろしく願い致します。

我妻隆邦君 本日の卓話者、斎藤磐根先生をご紹介します。「脳と墓」という意外な組み合わせの話です。最後までご静聴をお願いします。

犬飼和春君 横浜ロータリーの岡山様、ようこそいらっしゃいました。

永井隆俊君 先日雨の中権太郎寿司に参加の皆様お疲れ様でした。

東戸塚駅脇の桜が満開になりました。

森永 健君 皆、つつがなく過ごしております。感謝！

山本 登君 スペリ込みセーフでした。

脇田いすゞ君 昨日からの雨！寒くて桜がかわいそうです。

雨宮和則君 本日は所用により申し訳ありませんが早退致します。

3月21日	13件	38,000円
本年度累計額		1,786,985円

卓話

「『脳と墓』から見た南仏の古墳」

医師 斎藤 磐根 様
(我妻 隆邦 会員)



「脳と墓」というのは、養老孟司教授との共著「脳と墓」(弘文堂)から引用しました。医者が墓のことを言ったらお仕舞いだという人もいます。確かにそうかもしれません。しかしご承知のように医師の仕事の場は生と死の間にあることが多いのです。一応、生の方に立脚しているわけですが、死を見つめざるを得ないこともしばしばあります。

養老教授は「脳化」という言葉を使います。ここで「脳化というのは自然を排除しようとすることに他ならない」ということです。その最たるものが都市です。つまり都市はヒトの脳がつくり出したものですから。例え公園のように自然に見えるものでさえ人工的なものに過ぎません。実はあまり意識されることはありませんが、都市の中で人体が一番身近にある自然なのです。そして自然の中には

当然ながら「死」も含まれます。

医師はある意味で脳化を追い求める職業ですが、一方で常に人体という自然を相手にしているわけです。そして一般的には死体を解剖するところまでが職域ということになります。解剖をすると年に一回慰霊祭を行い、遺骨を家族にお返しするか、引き取り手がなければ共同墓地に埋葬する。解剖学教室ではそこまでが守備範囲となります。

そういうことを何年も繰り返しているうちに、そこでもう一步踏み込んで死を見つめてみようと思うようになり、埋葬や墓について考えてみたわけです。それも医師の立場で脳から見た埋葬と墓について考えてみました。

この本の一部を要約すると次のようになります。まず、埋葬するのはヒトだけということです。たとえチンパンジーの遺伝子がヒトとほとんど同じであるとしても、チンパンジーは埋葬しません。逆に埋葬するからヒトであるともいえます。

埋葬は体系的な社会があって始めて成り立ちます。そして社会というのは、交換系であります。また社会は、ヒトの脳の働きが表現されたものです。つまり脳では入力された情報が思考を経て統御されて出力されるという交換系となっています。脳は交換と統御の器官であり、それが表現されて出来たのが社会なのです。

一方でヒトの脳には物事を抽象化する能力とシンボルを作り出す能力もあります。たとえば自分の死というのは、当然ながら具体的にはわかりません。わかるのはあくまでも他者の死です。その他者の死を見て自らの死を想い、さらに死を一般概念化するという抽象能力を脳は持つわけです。

またシンボルを作り出すのもヒトの脳です。例えばロゴマークを思い浮かべてみて下さい。ヒトしかこのようなものはつくれません。そういう意味で墓というのは、死にまつわる脳の抽象のシンボル能力の産物といえます。

ところで墓は、生きている人のために建てるものです。まず当然ながら死者は墓を建てられません。遺族が建てるとすればそれは生きている人です。そして故人の遺言によるのであればそれは故人が亡くなる前の生きている時のものであるということです。

はじめ墓は、死者の代わりに新しい命を得るという再生または復活を願って建てられました。つまり交換を思い描いているということです。ドルメンが基本的に女性の子宮を意味していることからわかります。

また墓は、時間という抽象概念を形に表したものと いえます。さらに墓には、視覚言語の代わりとしての役割もあります。特に巨大古墳にはそれが強く認められます。逆に視覚言語すなわち文字が普及してくると巨大な古墳は造られなくなっていきます。

これまでわが国の古墳を中心に墓を見てきましたが、日本ではほとんど知られていないフランスの古墳を見るために昨夏南フランスを車で回りました。今回は、古墳(ドルメン)とメンヒルをわが国のものと比較してそれらの一部をご紹介します。

さらに墓ではないのですが、メンヒル(立石)も数多く見ることができましたので合わせて見ていただきました。メンヒルは、そこに住む人々の守り神の霊力範囲を示すものと考えられています。道に面して立てられている場合は、そこから外は災いをもたらす邪神・

悪霊の領域に入ることになるので、そこで無事に旅を続けられるよう祈念する意味を持っています。日本の道祖神に近い存在かもしれませんが。

日本とフランスの古墳が似ているということは何を意味するのでしょうか？それは、脳のクセによるヒトに共通するものなのか、それとも単なる文化の伝播によるものなのか。現在それを考察中で、今後の課題となっています。

ドルメンやメンヒルは他のヨーロッパ諸国にも見られますが、フランスにはとくに多数残っています。フランスにもこんなところがあるのだと思って見ていただければ幸いです。

ロータリーミニ情報

制定案 07-167

監査委員会を設置し、監査運営審査委員会の職務権限を改正する件

国際ロータリー細則を次のように改正する。

第16条 (手続要覧第221～222ページ)。

第16条 委員会

16.040. 特別委員会

第16.010.節から第16.030節までの規定は、指名委員会または細則第16.100節から第16.120節の下に結成された委員会には適用されない。

16.110. 監査委員会

理事会は、6名から成る監査委員会を任命するものとし、各委員は独立した立場にあり、財務の知識を有する者とする。委員会委員には、毎年任命される3名の現職の理事会メンバーを含むものとする。理事ではない3名の委員は、6年の任期を一期務めるものとし、常時6名から成る委員会構成にするために、隔年に1名ずつ任命する。監査委員会は、RIの財務報告、外部監査、内部管理システム、内部監査、その他の関連事項について審査し、理事会に報告するものとする。委員会は、会長、RI理事会、または委員会委員長が決定する時と場所において、通知後、年に3回まで会合を開くものとする。

また、会長あるいは委員会委員長が必要とみなした場合には、会長または委員会委員長が決定する時と場所において、通知後、その年に追加の会合を開くものとする。運営審査委員会委員長または同委員長が指名した人物が、委員会への連絡担当者(リエゾン)を務めるものとする。本委員会は、理事会の顧問という役割だけを果たすものであり、理事会の定める本節の規定と矛盾しない職務権限の下に任務を遂行するものとする。

第16.110. 節に関する暫定規定

2007年7月1日より、3人の理事ではない委員が任命される。理事でない委員の1人は2009年6月30日に終了する2年間の任期を務め、2人目の理事でない委員は2011年6月30日に終了する4年間の任期を務め、3人目の理事でない委員は2013年6月30日に終了する6年間の任期を務めるものとする。

16.120. 運営審査委員会

理事会は、6名の委員から成る監査運営審査委員会を設置するも

のとする。各委員は、6年を超えない任期を1期務める。常時6名から成る委員会構成にするために、隔年に2名の委員を任命する。委員は、元会長または現理事、ロータリー財団管理委員であってはならない。経営、指導力育成、財務管理などに経験豊かなロータリアンでバランスよく委員会を構成できるように選出するものとする。委員会は、会長、RI理事会、または委員会の委員長が決定する時および場所において、通知後、年に3回まで会合を開くものとする。また、会長あるいはRI理事会によって必要とみなされた場合には、会長または理事会が決定する時および場所において、通知後、その年に追加の会合を開くものとする。監査運営審査委員会は、RI財務報告、外部監査、内部の会計検査制度、内部監査などを含む(ただしこれだけに限定されるものではない)すべての財務事項を審査することができる。また、運営、管理手続、経営基準、その他必要に応じて運営上および財務上の事項の有効性と効率性を審査するものとする。委員会は、理事会の顧問という役割だけを果たすものであり、理事会の定める、本節の規定と矛盾しない、職務権限の下に任務を遂行するものとする。監査運営審査委員会は、理事会総会に直接報告するものとする。

決議案 07-169

貧困緩和の研究に取り組む委員会の設置を検討するよう、RI理事会に要請する件

貧困は、人類を苦しめる最も悲惨で不公正な災いの1つである。貧困がはびこる中、28億の人々は1日米賃2ドル以下で生存し、8億の子供たちが栄養失調にかかり、世界人口の半数は100年前より悪化した状況で生活している。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、専門家からなる委員会を設け、全世界の国々の貧困緩和策を課題に研究を行い、世界中のロータリアンが積極的に参加できる緩和対策を打ち出してもらうことを検討することとする。

ご案内

永井 隆俊 副SAA (PP)

大変になる本ですので是非ご覧下さい。

高良 明 著

「会計のプロが教える経営に強くなる本」 PHP 研究所

会報の一部訂正

第33号週報 No.1545 (3月14日例会) 幹事報告中、会員手帳の吉田会長メールアドレスは

(正) tyosida (誤) tyoshida

です。

会報の記載が間違っておりますので再訂正をお願い致します。

次回《4月4日》の卓話予定

『ロータリーの友』の表紙あれこれ

「友」の表紙解説者 岡井 耀毅 様
(石川 正三 会員)